

平成 18 年 1 月 10 日

## 5 号機屋外配管敷設溝における重油だまりの調査結果について

平成 17 年 11 月 2 日、当所 5・6 号機サービス建屋\*<sup>1</sup> 南側付近で油のにおいがすることから、周辺の調査を行ったところ、サービス建屋温水ボイラー\*<sup>2</sup> に供給する重油の配管敷設溝上蓋付近の地面に油が少したまっていることを確認したため、当該重油供給元弁を閉止するとともに消防署に連絡いたしました。

その後の調査において、先に確認した油だまりに加え、当該配管の敷設溝にも重油と水がたまっていたため、重油約 117 リットル、水約 1,600 リットルを回収いたしました。（平成 17 年 11 月 4 日お知らせ済み）

調査の結果、敷設溝内の重油配管外表面に腐食が見られ、配管の溶接部に貫通孔（直径約 1.5mm）が確認されたことから、当該貫通孔より重油が漏れたものと推定いたしました。

貫通孔が発生した原因は、敷設溝上蓋の充填材が劣化して浸入した雨水により配管が腐食したためと推定いたしました。

今回の対応として、5・6 号機サービス建屋温水ボイラーに供給する重油配管を交換するとともに、当該および同様な敷設溝を使用しないルートに変更いたします。

また、当所 1・2 号機および 3・4 号機サービス建屋の温水ボイラー用重油配管については、同様の敷設溝を使用していないこと、並びに異常のないことを確認いたしました。

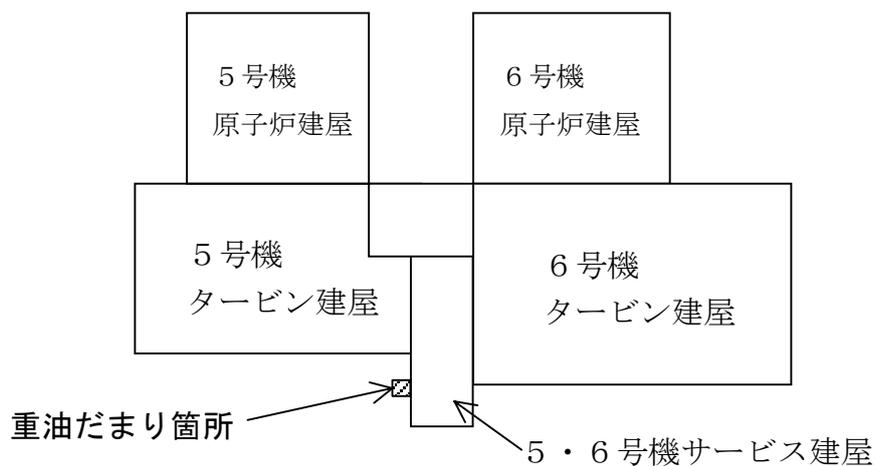
以 上

\* 1 サービス建屋

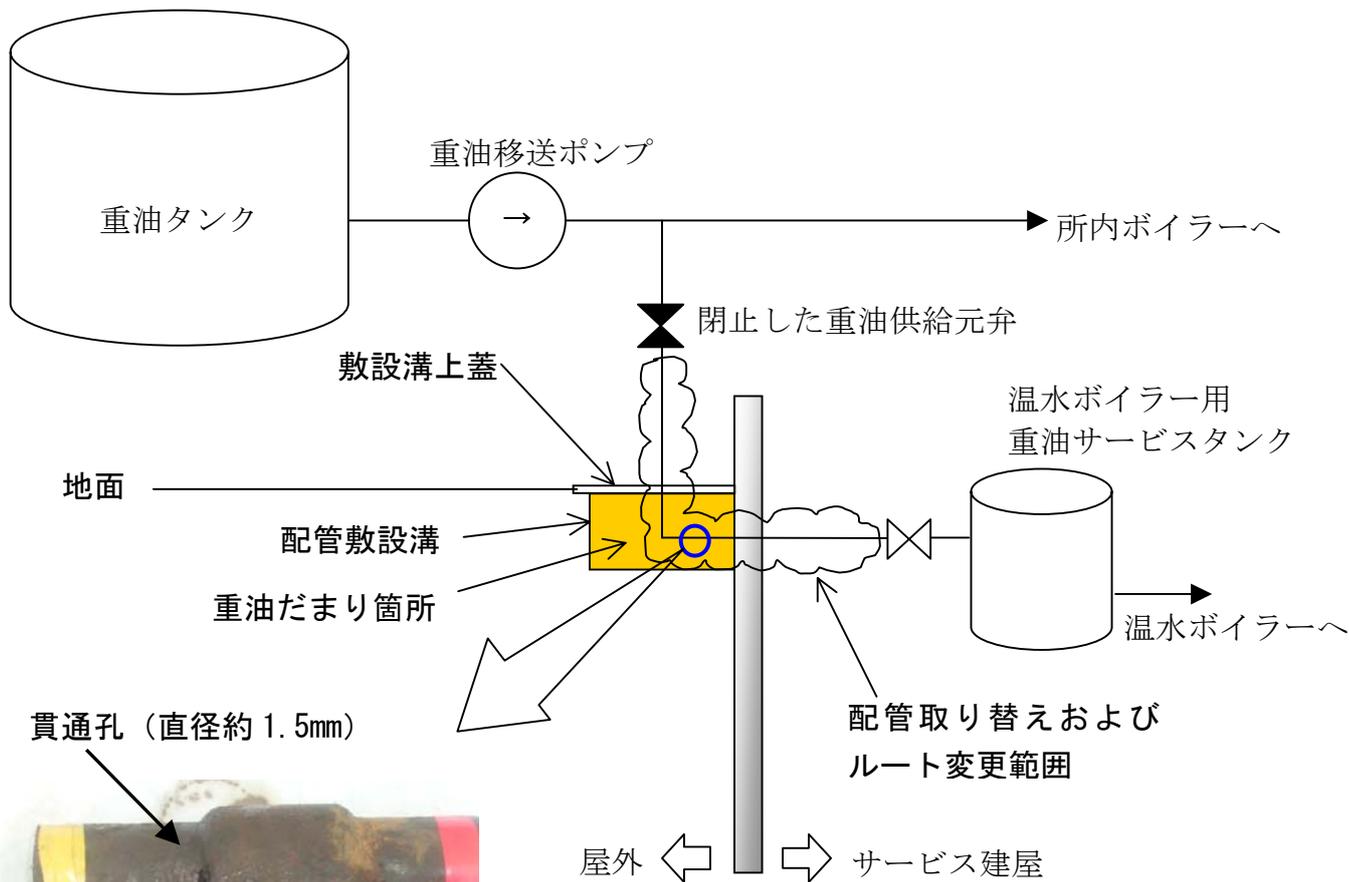
中央制御室や管理区域への人の出入りをチェックする他、作業員の休憩等の場所として提供している建屋。

\* 2 温水ボイラー

手洗い場やシャワーに温水を供給するための設備。



5・6号機建屋平面図



貫通孔 (直径約 1.5mm)



重油配管漏えい箇所写真

5号機屋外配管敷設溝における重油だまりの概略図